

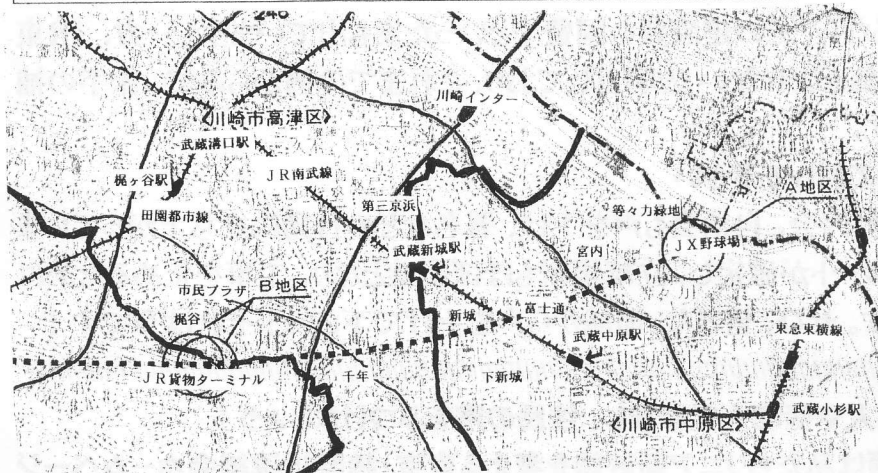
# リニア新幹線を考える中原・高津の会

代表：天野捷一 ☎044-866-5785  
住所：高津区新作5-22-1-103

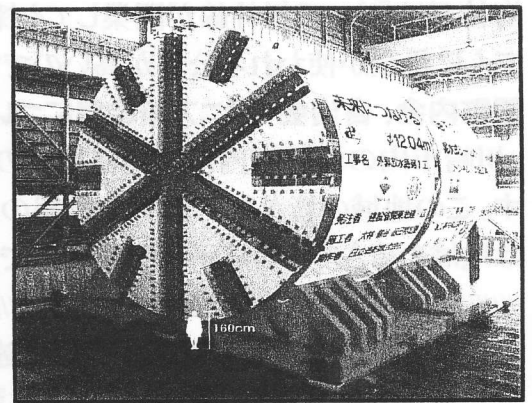
中原、高津区のリニア新幹線沿線地域の皆さん

騒音や振動、大気汚染など、生活や環境に影響する住民無視の  
リニア工事が来年度から始まります。今こそ、声を上げましょう！

## リニア新幹線トンネルルートと立坑建設位置～中原・高津区



巨大機械で24時間掘りまくる！

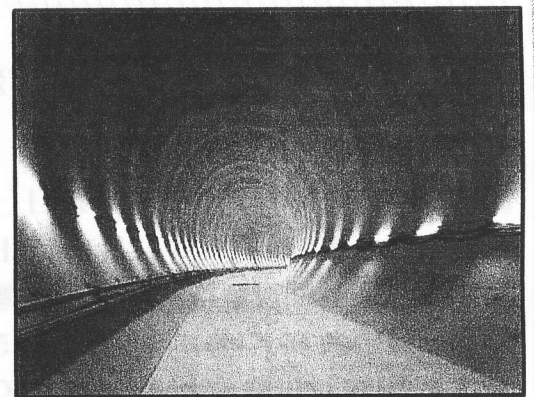


(直径12mのシールドマシン～国交省HP)

### ■大深度トンネル掘削地域

(カッコ内は真上にある主な施設等)

- 中原区 等々力(等々力緑地)、宮内4丁目、  
上小田中3、4、5丁目(富士通)  
新城2丁目、4丁目
- 高津区 千年新町、千年(橘小学校、高津区市民健康の森)  
(いったん宮前区野川を通り)
- 高津区 梶ヶ谷6丁目(JR貨物ターミナル北側)



### ■11年間も工事、地域の市民生活・自然環境への影響大

リニアは住民無視の事業です。市民にメリットはありません。 (利根川放水路大深度トンネル～国交省HP)  
JR東海によるリニア新幹線は、2027年に東京・名古屋間286キロの開業をめざし、来年度から沿線で工事が始まる計画です。

いつの間にか川崎市内のルートが設定され、中原、高津、宮前、麻生区の地下40メートル以深の大深度トンネルが掘られます。トンネル工事のため(開業後は非常口や換気口に利用する)直径30mの巨大な立坑が造られます。立坑は、中原区の等々力緑地隣接のENEOS(JX)グランドや宮前区のJR貨物ターミナル内など、市内5カ所に掘られます。

工事中は着工から11年の長きにわたり、その間、トンネルなどから400万<sup>m</sup>の建設残土が発生し、それを運ぶ工事車両95万台が尻手黒川線や幸・多摩川線(多摩川沿線道路)を走行します。

### ■24時間の大深度トンネル工事は地上に影響ないのか

JR東海は、「リニア山梨実験線の工事で、地下7～10mのトンネル工事でも地上への影響は無かったから、それより深い大深度だから工事中も開業後も影響は全くない」と説明しています。